

---

パネルディスカッション

小田 一彦 氏  
(青森市都市整備部雪対策室長)

---



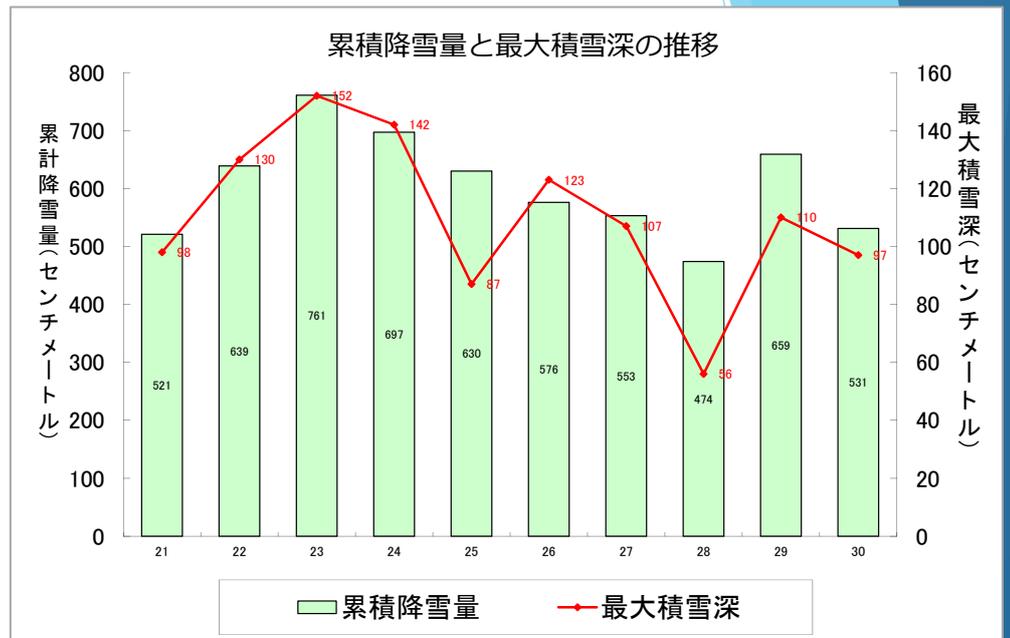
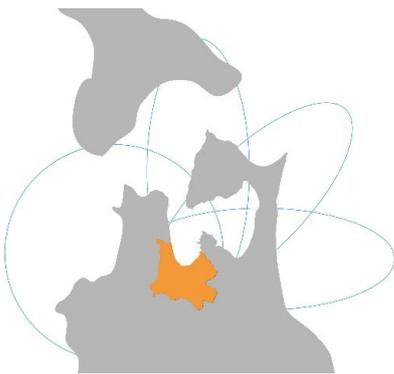
# 学生をはじめとした除雪ボランティアの育成

令和2年1月14日

青森市

(都市整備部 道路維持課 雪対策室)

## 1 青森市の概況



- 人口 287,648人
- 世帯数 118,234世帯
- 高齢化率 28.5%  
(H27国勢調査)

- 市全域が「特別豪雪地帯」の指定、人口30万人規模としては、世界有数の多雪都市
- 最大積雪深 111cm、累積降雪量 661cm (平年値)
- 市道の除排雪経費 約31億円 (過去10年平均)
- 平成30年度除排雪経費 35.7億円

## 2 共助による除排雪体制づくり等の取組

### (1) 青森市ボランティアポイント制度による支援

#### 制度概要

- 地域福祉の担い手となるボランティア活動を行う人材の育成・確保及び高齢者の社会参加による生きがいづくりや介護予防を目指すため、青森市ボランティアポイント制度を平成29年10月から開始
- ボランティアポイントは、雪対策支援や高齢者支援などの地域福祉活動を行った際に付与（1時間につき1ポイント（100円相当））され、年間最大5,000円相当の商品券またはバスカードと交換できる仕組み
- 雪対策支援に係る活動を幅広く対象とすることにより、地域における自主的な除排雪活動を支援するとともに、大学生などの若い世代をはじめ多くの市民を雪対策支援の担い手として確保

#### 登録からポイント交換までの流れ



### (2) 学生の除雪ボランティア活動の活性化

#### これまでの取組

- 若い世代をはじめとする多くの市民による担い手確保のため、特に大学生のボランティア登録への加入を促進
- ボランティアポイント制度を開始した平成29年度から市内4大学2短期大学に対し本格的に募集活動を開始し、登録者数は平成29年度の159人から平成30年度の177人と18人（約11%）増加

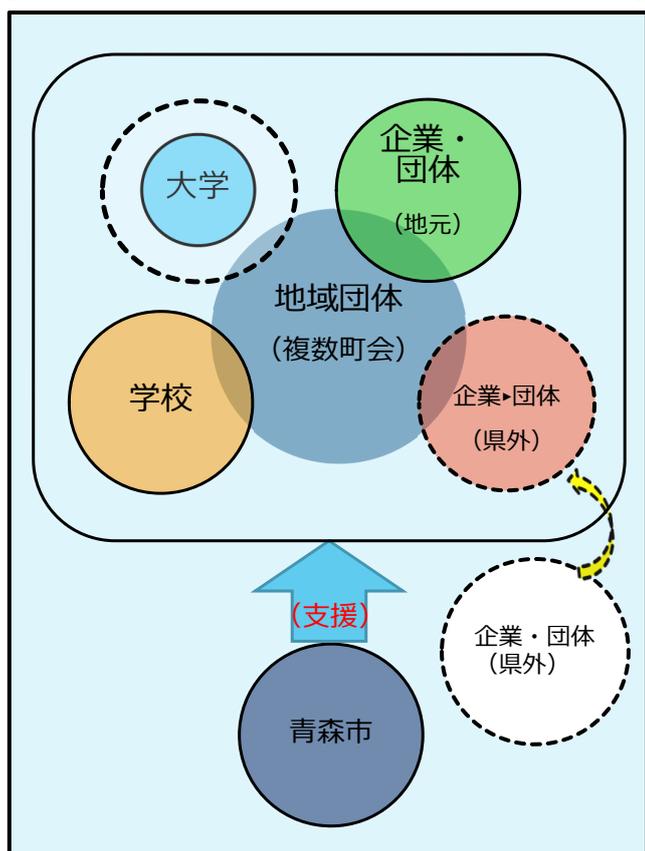
### 【参考】平成30年度 青森市ボランティアポイント制度活動実績（雪対策支援）

計 504人 8,417ポイント（活動期間：H30.10～H31.2）

| 事業名                 | 実績                                     | 事業名                    | 実績             |
|---------------------|--|------------------------|----------------|
| ① ひとり暮らし高齢者世帯除雪奉仕活動 | 1人<br>2P                               | ④ 冬期歩行者空間確保除雪機貸与事業     | 117人<br>2,495P |
| ② 屋根の雪下ろし奉仕活動       | 0人<br>0P<br><small>（少雪のため実績なし）</small> | ⑤ 冬期児童通学路確保に関わる除雪機貸与事業 | 10人<br>148P    |
| ③ 福祉の雪対策事業          | 321人<br>5,512P                         | ⑥ 冬期歩行者空間確保のための事業      | 55人<br>260P    |

### 3 学生をはじめとした除雪ボランティアの育成

【地域における除雪ボランティア実施体制イメージ】



#### 取組の趣旨

冬期における歩道の安全確保、特に児童・生徒の通学路の安全を確保するため、関係する町会、大学、法人・団体等、さらには、域外からの学生ボランティアで構成する団体を組織化し、行政が行う道路除排雪とも連携の上、効果的な歩道除雪を実施する。

また、市ボランティアセンターと連携の上、人材育成及び普及活動を実施し、同様の取組を他地域へ展開する。

#### 支援内容

- ①除雪用具や会議運営に係る事務用品等の支援
- ②持続的な活動が可能となるよう担い手育成等を目的とした除雪ボランティア研修会の開催
- ③効果的な歩道除雪を行うため、市が行う道路除排雪の日程調整

#### 将来的な目標

- 市内全大学・短大（6校）に活動を拡大
- 実施地域の拡大
- 市域外の企業等からのボランティア受入れ体制を構築

4

ご清聴ありがとうございました。



---

パネルディスカッション

古山 正英 氏  
(青森中央学院大学 学習支援センター)

---



# 青森市横内地区を中心とした 雪片付けボランティア活動

青森中央学院大学／青森中央短期大学  
学習支援センター  
古山 正英

## 大学紹介





学校法人 青森田中学園

# 青森中央学院大学

学校法人青森田中学園が設置する四年制大学。今年開学20周年。開学当初からの経営法学部・大学院地域マネジメント研究科・地域マネジメント研究所のほか、平成26年に看護学部、平成30年に別科助産専攻を開設。学園には併設する設置校として青森中央短期大学（食物栄養学科、幼児保育学科、専攻科福祉専攻）、青森中央文化専門学校（服飾）、青森中央経理専門学校（経理）、三つの附属幼稚園を設置する。

## 報告者について

- 平内町出身
- 2009年入職 厚生補導専任職員
- 正課外活動全般の支援担当（サークル・ボランティア・学生主体のプロジェクトなど）。その他、アクティブラーニング科目での海外研修引率、海外での学生募集、マンゴー輸入販売事業、黒石りんご輸出事業の統括など、幅広く担当。

## 活動の背景

- 平成26年3月、青森中央学院大学と青森中央短期大学は、キャンパスの立地する青森市横内町会と連携協定を締結しました。

## 青森市横内町会との連携協定

- 目的  
お互いが包括的な連携のもと、相互に協力し、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、安全・安心で活力のある豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的とする。

## 連携事項

1. まちづくりに関すること。
2. 災害時支援・防災活動に関すること。
3. 生涯学習・健康スポーツに関すること。
4. 健康福祉の増進に関すること。
5. その他

## 協定を受けて

学生団体（部活動、サークル等）やボランティアなどの課外活動を統括する学習支援センターでは、「学生が主体として継続して出来ること」を目標に、地域貢献方策を検討しました。

## 青森中央学院大学強化指定部

- 硬式野球部
- ボクシング部
- サッカー部
- バスケットボール部
- ハンドボール部
- 柔道部
- ボウリング部（28・29・元年度日本一）

## 地域貢献の第一歩

トレーニングとしてのランニングコースを横内地区に設定することで、横内地区を学区に通う小学生や幼児などの子供たちの見守り強化としての貢献。

## 強化指定部の町内ランニング



## 横内浄水場水源の清掃

横内地区には青森市上水道の大動脈である横内浄水場があり、横内町会では毎年五月ごろに横内川から浄水場へ繋がる水路の堰上げを実施しています。本学の学生が毎年この清掃活動に参加。

## 横内浄水場水源の清掃



## その他の活動

その他、クリーンアップ作戦への参加や、横内町会主催の横内祭りへのにぎやかしとしての参加、横内地区の寺社仏閣へ奉納するしめ縄づくりへの協力などを継続して参りました。これらの活動へは強化指定部員にのみならず、一般公募による学生も多くが参加してきました。

# 横内まつり



# しめ縄づくりと奉納



## 硬式野球部による地域貢献

平成26年、硬式野球部により、横内中学校野球部を対象とした野球教室を初開催しました。オフシーズンである冬季に、横内中学校野球部のみを対象とした野球教室を開催し、監督のみならず部員である学生がコーチとなって野球を通じた地域の中学生との交流を行いました。

## 横内中学校を対象とした野球教室



## 横内中学校を対象とした野球教室



## 横内中学校を対象とした野球教室



## 雪片付けボランティアの開始

80名前後の大所帯である組織力を活用した地域貢献として開始。

平成26年度の冬から開始され、当初は横内地区に限らず、妙見～問屋町～野尻～合子沢～横内の広範囲において、押しボタン式信号機のある交差点を中心に4～5名の複数班によるマンパワーを生かした雪片付けを実施。

## 雪片付けボランティア活動



## 雪片付けボランティアの開始

昨今は自治体や町会により信号機周辺がキレイに片付けられていることもあり、実施する場所を横内中心にシフトし、横内小学校や中学校の通学路、空き家周辺の積雪により通行不可能な歩道、ごみ収集所やバス停周辺の吹き溜まりなどを、パトロールしながら随時片付けるという形態に変化。

## 雪片付けボランティア活動



# 雪片付けボランティア活動



# 雪片付けボランティア活動



# 雪片付けボランティア活動



# 雪片付けボランティア活動

## 方針

学生が無理なく参加できる  
継続可能な取り組み

## 雪片付けボランティア活動

- 1月中旬より3月上旬まで毎週土曜2時間の活動
- 学生の本分である学業が優先  
→期末試験期間は中止
- 学生の体調管理優先  
→天候による中止、感染症の流行

## 雪片付けボランティア活動

- 屋根の雪下ろしや除雪機など機力を利用した除雪など危険の伴うものは行わない。
- 昨今では部外の一般学生も参加を希望するようになった。

## 活動の課題

- 大雪などで急激に雪片付けの必要が発生した場合であっても、応えることが出来ない。
- 積雪状況ではなく学生に合わせた活動であり、克雪体制づくりの根本的な原動力にはなり得ない。

# ご清聴ありがとうございました

## 青森市横内地区を中心とした 雪片付けボランティア活動

青森中央学院大学／青森中央短期大学  
学習支援センター  
古山 正英

---

パネルディスカッション

小山内 勉 氏

(横内町会)

---



# 地域一帯となった歩道除雪活動

令和2年1月14日  
青森市横内町会  
冬期通学路等除雪事業実行委員会  
事務局長 小山内 勉

## 【取組概要】

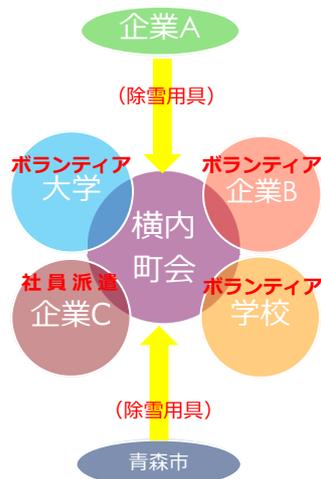
実施主体 青森市横内町会  
(世帯数300世帯)

経緯 町会の活動として、地域住民、事業所、大学に参加を呼びかけ、実行委員会を組織し、子どもたちの冬期における安全を確保するため、通学路等の歩道除雪を行うこととした。

## 【町会位置図】



## 【活動体制イメージ】



## 取組内容

- 活動は、持続可能な活動とするため、原則12月1日から翌年3月31日までの月1回程度実施（実施日は、原則第3日曜日の午前中）
- 町会内に設置されている流雪溝を活用し、町会内の歩道及び通路等の除雪を実施（交差点、ごみ集積所、バス停留所も対象）
- 実施延長は、道路延長で約1.6キロメートル

## 実施体制

- 町会住民に加え、学校、大学、団体等の関係者で構成する実行委員会を組織し6班体制で実施
- 青森市ボランティアポイント制度における地域福祉サポーターへ登録し、ボランティア保険を適用
- 町会から実行委員会へ活動費として10万円を支給
- 地元法人が町会に対し除雪用具（雪べら）を提供
- 市が除雪用具（スノーダンプ、アルミスコップ）を貸与

## 活動実績

【H30】延べ115人（活動日数：3日）

## 主な成果

- 活動計画を事前に県・市に情報共有したことによる車道や歩道の除排雪の効率化
- 除雪に対する住民意識の高まり

